

第177期末(2025年10月14日)	
基準価額	8,585円
純資産総額	138,828百万円
第172期～第177期	
騰落率	32.7%
分配金(税込み)合計	900円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

## ピクテ・バイオ医薬品 ファンド(毎月決算型) 為替ヘッジなしコース

追加型投信／内外／株式

第172期(決算日2025年5月13日) 第175期(決算日2025年8月13日)

第173期(決算日2025年6月13日) 第176期(決算日2025年9月16日)

第174期(決算日2025年7月14日) 第177期(決算日2025年10月14日)

作成対象期間：2025年4月15日～2025年10月14日

### 受益者のみなさまへ

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記の弊社ホームページを開き「ファンド」より当ファンドの名称を選択いただき、さらに「運用報告書(全体版)」を選択いただきますと運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 書面での運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、「ピクテ・バイオ医薬品ファンド(毎月決算型)為替ヘッジなしコース」は、このたび、第177期の決算を行いました。

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界主要市場のバイオ医薬品関連企業の株式に投資することにより、信託財産の積極的な成長を図ることを目的としております。

当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

## ピクテ・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内2-6-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

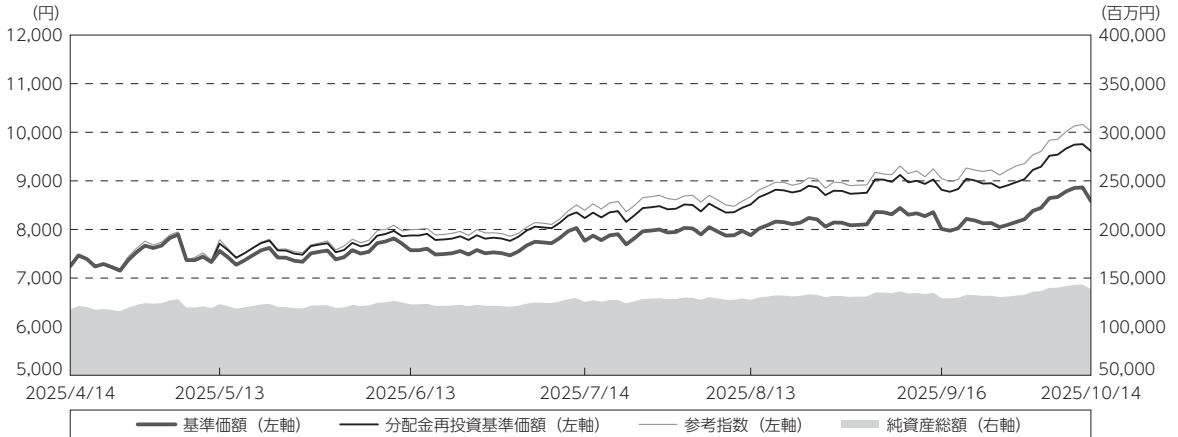
電話番号 03-3212-1805

受付時間：委託者の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ：www.pictet.co.jp

# 運用経過

## 基準価額等の推移



第172期首：7,245円

第177期末：8,585円 (既払分配金(税込み)：900円)

騰落率：32.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首(2025年4月14日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数を委託者が円換算したものです。

## 基準価額の主な変動要因

- 上昇↑・実質的に組入れているアイオニス・ファーマシューティカルズ(米国、バイオテクノロジー)、アルナイラム・ファーマシューティカルズ(米国、バイオテクノロジー)などのバイオ医薬品関連企業の株価が上昇したこと
- 上昇↑・円に対して米ドルが上昇したこと

## 1 万口当たりの費用明細

(2025年4月15日～2025年10月14日)

項 目	第172期～第177期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	82	1.048	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(43)	(0.552)	・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価
( 販 売 会 社 )	(35)	(0.441)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価
( 受 託 会 社 )	( 4 )	(0.055)	・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.001	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数
( 株 式 )	( 0 )	(0.001)	・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数
( 株 式 )	( 0 )	(0.001)	・有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	1	0.011	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 1 )	(0.007)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.000)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.004)	その他は、信託事務の処理等に要する諸費用
合 計	83	1.061	
作成期間の平均基準価額は、7,835円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

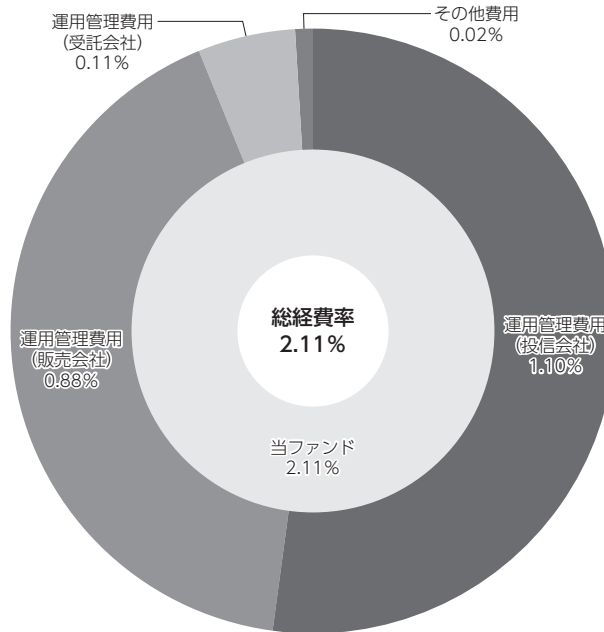
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.11%です。



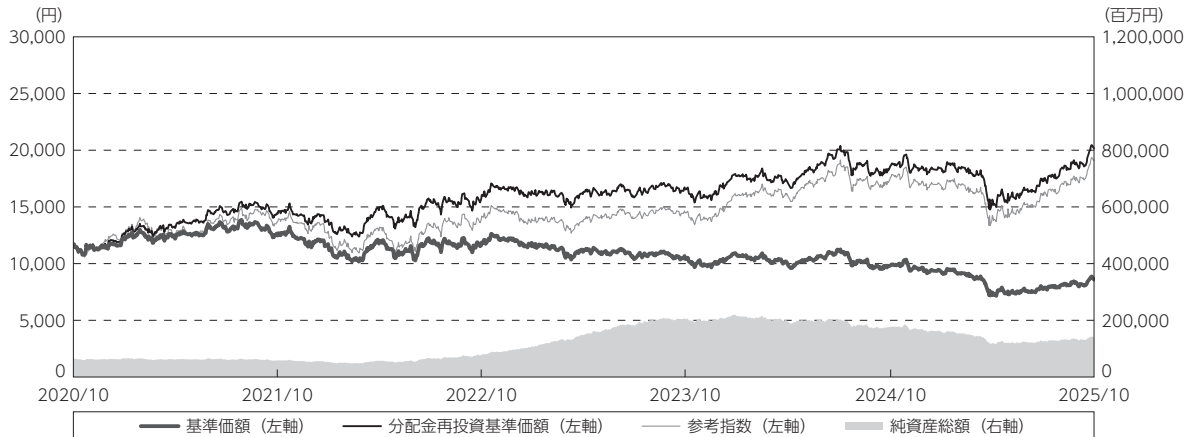
(注) 上記の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移 (2020年10月13日～2025年10月14日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2020年10月13日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年10月13日 決算日	2021年10月13日 決算日	2022年10月13日 決算日	2023年10月13日 決算日	2024年10月15日 決算日	2025年10月14日 決算日
基準価額 (円)	11,708	12,481	11,602	10,401	9,843	8,585
期間分配金合計(税込み) (円)	—	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	23.1	8.8	5.4	12.8	8.0
参考指数騰落率 (%)	—	16.7	1.5	4.4	21.7	8.2
純資産総額 (百万円)	65,445	58,040	77,425	203,666	176,839	138,828

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 (注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数を委託者が円換算したものです。基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

## 投資環境

- ・バイオ医薬品関連株式市場は、作成期を通じてみると大きく上昇しました。作成期初の2025年4月中旬は、初旬に米国のトランプ米大統領が相互関税名目で世界各国に高率の関税を課す方針を示し、世界の株式市場が大混乱に陥った流れを受けて、下落して始まりました。しかし下旬以降は、米国が態度を一部軟化させ、米国と世界各国との間での貿易面での対立が和らぐとの見方が徐々に優勢となったことで反発しました。5月上旬には、トランプ米政権による薬価引き下げの大統領令を受けて再び下落しましたが、その後は規制当局による新薬の承認や有望な臨床試験結果の発表、活発なM&A（合併・買収）の動きを背景に上昇に転じました。その後も米国経済の底堅い推移、FRB（米連邦準備制度理事会）による利下げ見通し、AI（人工知能）関連の好材料を背景とした主力ハイテク株式の高成長への期待などから米国株式市場全般が堅調に推移する中、バイオ医薬品関連株式市場も好調な推移が続き、さらに9月から10月初旬にかけては、大規模なM&Aが見られたことや、米国の大手製薬企業が薬価引き下げや関税の回避などで米国政府と合意に至り、先行きを巡る不透明感が後退したと見られたことで、一段高となりました。
- ・為替市場では、作成期を通じてみると円安・米ドル高が進行しました。作成期初の2025年4月中旬においては、米国の関税政策を受けた世界経済の先行きに対する悲観的な見方から、円高・米ドル安が進行して始まりましたが、4月後半以降は、米国が態度を軟化させ、貿易摩擦激化への警戒感が後退したことで円安・米ドル高傾向に転じました。5月は、円安是正について日米協議が行われるとの観測や、米国の財政悪化への警戒感などで円高・米ドル安の推移となりました。6月以降は、FRBの利下げ観測や日米間の相互関税に係る合意を受けて円高・米ドル安となる場面もありましたが、米国株式市場の最高値更新や日本銀行の利上げ姿勢の後退を背景に円安・米ドル高傾向で推移しました。8月から9月にかけては、FRBの利下げ観測や米政府によるFRBの独立性侵害を巡る懸念が円高・米ドル安材料となった一方、積極財政派とみられる高市氏の自民党総裁選への出馬表明などが円安・米ドル高材料となり、もみ合う展開となりました。作成期末にかけては、米国議会での予算不成立で政府機関が閉鎖されたことや債務増大への懸念などから米ドルの上値が一旦抑えられましたが、自民党総裁選での高市氏の勝利、自民党と公明党の連立解消による政局の不透明感などを受けて円安・米ドル高が進行しました。

## 当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドが主要投資対象とするピクテ・バイオ医薬品マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持してまいりました。実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いませんでした。

### <ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド>

主に世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいりました。当作成期末におけるESGを主要な要素として選定した銘柄の組入比率は、73.6%となりました。

当社および運用指図の権限の委託先におけるESGに関わる活動の詳細につきましては以下のリンク先をご覧ください。

<https://www.pictet.co.jp/featured/esg-portal.html>

### ◇国・地域別組入比率（当作成期末）

国・地域名	組入比率
米国	82.8%
英国	6.0%
フランス	2.9%
中国	1.8%
デンマーク	1.6%
スイス	1.2%
ドイツ	0.6%
オランダ	0.6%
カナダ	0.4%

### ◇業種別組入比率（当作成期末）

業種名	組入比率
バイオテクノロジー	73.6%
医薬品	18.9%
ライフサイエンス関連	4.0%
ヘルスケア・サービス	1.5%

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

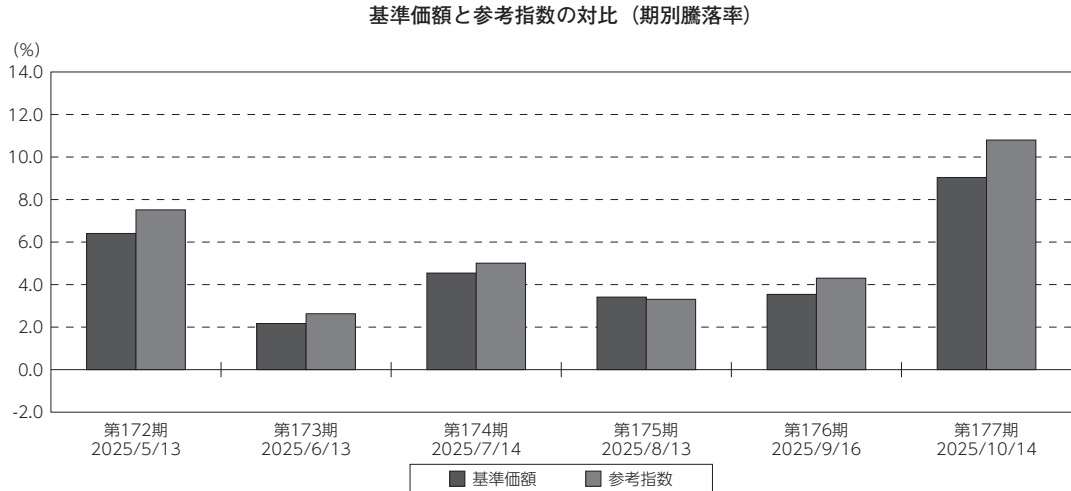
### ◇組入上位10銘柄（当作成期末）

銘柄名	国名	業種名	組入比率
ギリアド・サイエンシズ	米国	バイオテクノロジー	7.9%
アムジェン	米国	バイオテクノロジー	5.8%
アストラゼネカ (ADR)	英国	医薬品	5.5%
パーテックス・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	5.4%
リジェネロン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	5.2%
アルナイラム・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	4.0%
アイオニス・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	3.6%
インサイト	米国	バイオテクノロジー	3.4%
サノフィ (ADR)	フランス	医薬品	2.9%
ジャズ・ファーマシューティカルズ	米国	医薬品	2.8%

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドでは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドと参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数を委託者が円換算したものです。

## 分配金

当作成期中の1万口当たり分配金(税込み)は以下のとおりといたしました。  
 なお、留保益については、元本部分と同一の運用を行います。

### ◆分配金および分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第172期	第173期	第174期	第175期	第176期	第177期
	2025年4月15日～ 2025年5月13日	2025年5月14日～ 2025年6月13日	2025年6月14日～ 2025年7月14日	2025年7月15日～ 2025年8月13日	2025年8月14日～ 2025年9月16日	2025年9月17日～ 2025年10月14日
当期分配金 (対基準価額比率)	150 1.946%	150 1.942%	150 1.895%	150 1.868%	150 1.838%	150 1.717%
当期の収益	8	7	3	3	10	11
当期の収益以外	141	142	146	146	139	138
翌期繰越分配対象額	14,919	14,776	14,630	14,484	14,345	14,207

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。  
 (注) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下を切捨てて表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### (1) 投資環境

バイオ医薬品関連企業は、画期的な治療薬を提供し続けるものと予想され、相対的に高い利益成長が期待されます。また魅力的な新薬候補や高い技術力を求めて大手医薬品企業がバイオ医薬品関連企業を買収する動きは、中長期的に継続すると見られ、これは株価にとってプラス要因になると見えています。一方、米食品医薬品局(FDA)の人員削減の動きや薬価引き下げの動き、関税などのトランプ米政権の政策に加え、注目パイプラインの治験結果の発表、決算の内容、米国金利の動向などは、株価に影響を与える可能性があり、引き続き注視が必要と考えます。

### (2) 投資方針

ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド受益証券への投資を通じて世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいります。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

### <マザーファンド>

世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいります。

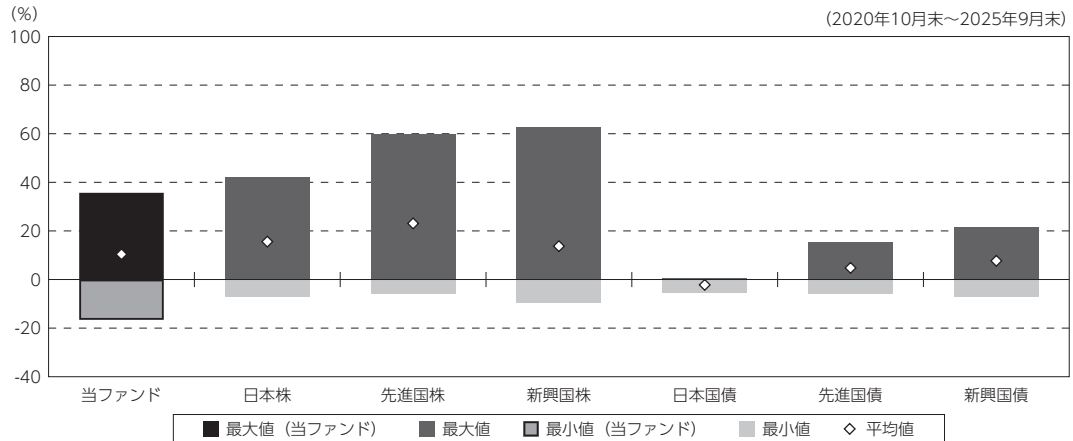
# お知らせ

該当事項はございません。

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2004年10月29日(当初設定日)から無期限です。	
運用方針	世界主要市場のバイオ医薬品関連企業の株式に投資することにより、信託財産の積極的な成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド受益証券
	マザーファンド	世界のバイオ医薬品関連企業の株式
運用方法	①主として、マザーファンド受益証券に投資します。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資制限	当ファンド	①株式への実質投資割合には制限を設けません。ただし、未上場株式および未登録株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ②同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場株式および未登録株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ②同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②収益分配金額は、基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託者が決定します。また、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	35.7	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 16.6	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	10.4	15.6	23.1	13.7	△ 2.2	4.8	7.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年10月から2025年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

### ○各資産クラスの指標

日本株 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株 MSCI コクサイ指数 (税引前配当込み、円換算)

新興国株 MSCI エマージング・マーケット指数 (税引前配当込み、円換算)

日本国債 NOMURA - BPI 国債

先進国債 FTSE 世界国債指数 (除く日本、円換算)

新興国債 JP モルガン GBI - EM グローバル・ディバーシファイド (円換算)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジをしない投資を想定して、ドルベースの各指数を委託者が円換算しております。

# 当該投資信託のデータ

## 当該投資信託の組入資産の内容

(2025年10月14日現在)

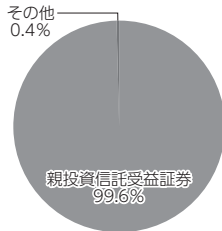
### ■組入上位ファンド

銘 柄 名	第177期末
ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド	99.6%
組入銘柄数	1銘柄

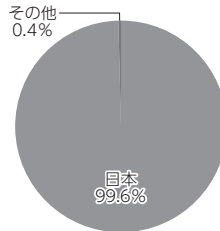
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

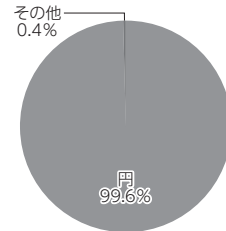
### ■資産別配分



### ■国別配分



### ■通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等(日本・円)を含む場合があります。

## 純資産等

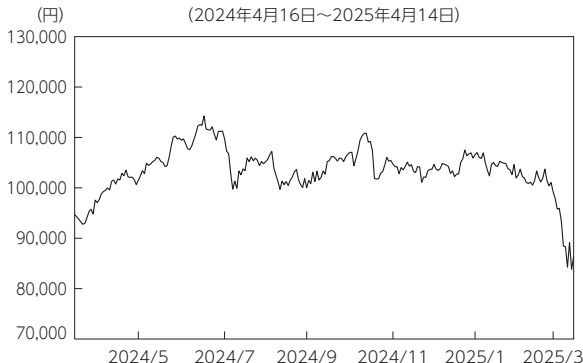
項 目	第172期末	第173期末	第174期末	第175期末	第176期末	第177期末
	2025年5月13日	2025年6月13日	2025年7月14日	2025年8月13日	2025年9月16日	2025年10月14日
純 資 産 総 額	123,131,608,746円	122,906,259,454円	125,257,193,779円	127,575,550,812円	129,511,412,315円	138,828,760,712円
受 益 権 総 口 数	162,884,745,850口	162,296,408,454口	161,263,223,894口	161,849,657,439口	161,662,981,990口	161,704,784,961口
1万口当たり基準価額	7,559円	7,573円	7,767円	7,882円	8,011円	8,585円

(注) 当作成期間(第172期~第177期)中における追加設定元本額は23,065,237,986円、同解約元本額は23,704,282,276円です。

## 組入上位ファンドの概要

### ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド

#### ■基準価額の推移



#### ■1万口当たりの費用明細

(2024年4月16日～2025年4月14日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	5 (5)	0.005 (0.005)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	5 (5)	0.005 (0.005)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	23 (17) (6)	0.022 (0.017) (0.006)
合 計	33	0.032

期中の平均基準価額は、104,013円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

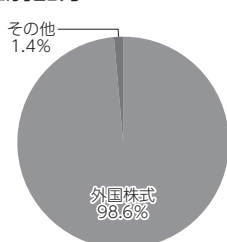
#### ■組入上位10銘柄

(2025年4月14日現在)

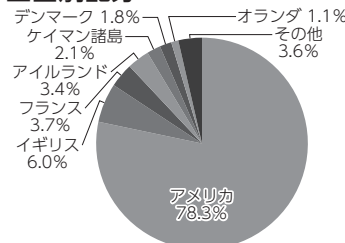
順位	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	VERTEX PHARMACEUTICALS INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	8.7%
2	GILEAD SCIENCES INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	8.6%
3	AMGEN INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	8.2%
4	REGENERON PHARMACEUTICALS	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	6.5%
5	ASTRAZENECA PLC-SPONS ADR	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	イギリス	4.7%
6	SANOFI-ADR	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	フランス	3.7%
7	INCYTE CORP	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	3.5%
8	ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	3.0%
9	VIATRIS INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	2.4%
10	JAZZ PHARMACEUTICALS PLC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アイルランド	2.2%
組入銘柄数			60銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

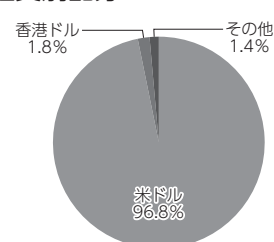
#### ■資産別配分



#### ■国別配分



#### ■通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。  
 (注) その他にはコール・ローン等(日本・円)を含む場合があります。  
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

## 指数に関して

### ○ 「代表的な資産クラスと騰落率の比較」に用いた指数について

#### ■ 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) :

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」といいます。) に帰属します。JPXは、同指数の指数値およびそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。JPXは同指数の算出もしくは公表方法の変更、同指数の算出もしくは公表の停止または同指数の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### ■ MSCI コクサイ指数 (税引前配当込み) :

MSCI コクサイ指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

#### ■ MSCI エマージング・マーケット指数 (税引前配当込み) :

MSCI エマージング・マーケット指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

#### ■ NOMURA – BPI 国債 :

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また同社は同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、当ファンドの運用成果に関して一切責任を負いません。

#### ■ FTSE 世界国債指数 (除く日本) :

FTSE 世界国債指数 (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券指数です。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

#### ■ JP モルガン GBI – EM グローバル・ディバースィファイド :

JP モルガン GBI – EM グローバル・ディバースィファイドは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的な指数です。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。